

行政の窓

令和2年 特用林産統計について

【特用林産物生産額】

令和2年における道内の特用林産物の総生産額は、約106億円（前年比98%）と3年連続前年を下回りました。

【きのこ類の生産動向】

令和2年のきのこ類の生産量は17,136トン（前年比97%）、生産額は約102億円（前年比98%）と、いずれも前年を下回りました。このうち、道内で最も生産量の多い「生しいたけ」（原木及び菌床）は、生産量5,424トン（前年比81%）で3年連続前年を下回りました。

次いで生産量の多いえのきたけ、3位のぶなしめじは、秘匿措置としておりますが、ともに前年を上回りました。

道内品種別生産量は、これら3品目で全道きのこ生産量の約70%を占めています。

【木炭の生産動向】

令和2年の生産量は819トン（前年比98%）、生産額は約1.7億円（前年比98%）と、いずれも前年を下回りました。

道内木炭は輸入木炭との価格競争などにより生産量は減少傾向にあります。令和2年は輸入木炭も、7,474トン（前年比89%）と、過去5年で最も少ない輸入量となりました。

【主な山菜類の生産動向】

令和2年は生産量が654トン（前年比82%）、生産額は約2億円（前年比91%）と、いずれも前年を下回りました。

※上記生産額は、全て推計額となります。
 ※平成30年以降の統計調査の公表にあたっては、調査対象者数が2以下の場合、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「X」表示とする秘匿措置を施しています。また、全体（計）から差し引きにより、秘匿措置を施した当該結果が推定できる場合についても「X」表示しています。

（水産林務部林務局林業木材課木材産業係）

